

タイトル

「ペットウン みいつけた！」

①

そらくんの てから コロンとおちた
ペットボトルの ペットウン。

みちを コロコロ コロコロ ぽちゃん
ようすいろに おちちゃった。

そらくん きづかず しらんぷり。

プカプカ ぼくは どこに行くんだろ。。

「そらくん———！！たすけて———！！」

②

ペットウン プカプカ

ようすいろから かあへ。

どんどん どんどん ながれてついに

おおきな おおきな うみ にきた。

③

プカプカ ゆられて

チャポン。

ちいさなさかなが ペットウンにはいっちゃった

だしてよーだしてー

ちいさなさかなは ここにいたいのだよ

どこかに つれていかないで！

④

プカプカ ゆられて

ギューン。

かいそらが ペットウンにからみついちゃった

いたいよーいたいよー

かいそらが ちぎれちゃうよ

ひっぱらないで！

⑤

プカプカ ゆられて

グイッ。

さかなつりのあみが ペットウンにひっかかった

どいてよーどいてー

さかなが とれないじゃないか

あみにはいらないうで！

⑥

プカプカ ゆられて

たどりついたのは しまのすなはま。

ふくろが ひっかかって およげないよ。

ヒモが からんで くるしいよ。

ようきのかけらを たべちゃって おなかがいたいよ。

みんな えーんえーんえーん。

⑦

「ぼくは。。。ただ ながれてきたただけなんだ。
うみを いじめたいなんて
これっぽっちも おもってないのに・・・」

ペットウン ころろがギュッっと かなしくなって
えーんえーん。
ゴミたちも おなじきもち えーんえーん。

⑧

「みんな どうして ないてるの??？」

うみにあそびにきていたそらくんが ペットウンをみつけました。

「そらくんあのね。

ぼくは きみがおとした ペットボトルなんだよ。

ぼくね うみのみんなや いろんなものに

いっぱいいっぱい めいおくかけちゃったんだ。。。」

「そうだったんだね。。。 ペットウン、ごめんね。

みんなが ちたえるように

ぼくが できることはなんだろう。。。」

⑨

そらくんは ペットゥンをやさしく ひろいあげました。

「ペットゥン、おしえてくれて ありがとう♪」

「そらくん、ぼくをみつけてくれて ありがとう♪」

⑩

とおくでおちた ゴミたちは
プカプカ ゆられて どこまでも。
どんどん どんどん ながれていくの。

ゴミは きちんと すてるとね
それぞれ いろんなかたちで
あたらしいものに うまれかあるんだよ。

うみのしぜんの リズムがもどると
いきものたちも とってもげんきに ぐらすことができるんだ。

みんなが あそぶすなはまも
たのしいたのしい ばしょになる。

⑪

ひとも ゴミも しぜんも みんな
ちからを あおせて
えがお でいようね🎵